

夏らしい日が続きます。節電のため暑さがひとしおですが、皆さんそれぞれに暑さ対策を工夫しておられます。人間はやはり考えるヒト、工夫するヒトですね。



満開のシチダンカ (六甲山荘)

お知らせ

- ・ヴォーリズ六甲山荘休館 8月7日(日) 12時～(貸切のため)
- ・写生会・ヴォーリズ六甲山荘 8月10日(水)
- ・園遊会 8月 8月20日(土) ヴォーリズ六甲山荘 (一般公開はお休み)
- ・園遊会 9月 9月23日(金・祝) ヴォーリズ六甲山荘
- ・東日本大震災被災者支援コンサート 11月23日(水・祝) カトリック夙川教会

予告1

園遊会・夏と秋

<東日本大震災被災者支援活動>

ヴォーリズ六甲山荘の佇まいを楽しみながら一日をすごしていただく園遊会を、今年は夏と秋にそれぞれ1回ずつ企画しました。特に今年は東日本大震災被災者支援活動の一環として開催し、被災者の方々をご招待します。

*園遊会・夏～岩手弁による宮沢賢治の朗読とフランスシター演奏

月日 2011年8月20日(土) 場所 ヴォーリズ六甲山荘

公演 12時～13時、14時～15時の2回

岩手弁による宮沢賢治の朗読(菅原哲夫)とフランスシター(いいだむつみ)のコラボ
菅原さんの朗読は岩手弁の独特のリズム感で、温かく心にしみいります。お楽しみに。

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。

*園遊会・秋～世界のオルゴールの演奏

月日 2011年9月23日(金・祝) 場所 ヴォーリズ六甲山荘

公演 オルゴールの演奏(工藤正登さん所有のオルゴール)

参加費 いずれも1,500円(コーヒー/紅茶+ケーキつき)

ご報告 東日本大震災被災者支援コンサート 7月23日(土) 神戸栄光教会

アンサンブル・アメニティのコンサートはいつもそうですが、今回も心にしみるすばらしい内容でした。特に後半は日本の楽曲を中心としたプログラムで、啄木歌集や宮沢賢治の歌や明治14年の小学唱歌などが演奏されました。今回は神戸市に避難しておられる被災者の家族の方もご招待しましたが、「感動して涙ができました」との感想をいただき、お招きしたかいがあったと思いました。参加者：245名

当日は東北の物産と会員の長瀬信博さんによる絵葉書(コンサートのチラシの原画)を販売しましたが、すべて完売しました。ありがとうございました。

今回の純益からあしなが育英会の東北レインボーハウス建設募金に寄付しました。



予告3

写生会 at ヴォーリズ六甲山荘

<東日本大震災被災者支援活動>

月日 2011年8月10日(水) 場所 ヴォーリズ六甲山荘

保護者同伴の子どもさんの参加を募集します。被災者のご家族は招待いたします。

内容：絵画指導、自然観察、石窯ピザの昼食、お茶とお菓子。

指導(絵画)：前田豊稔(甲南女子大学人間科学部准教授)、物應里絵(造形作家)

参加費：大人2,000円 高校生以下1,000円 定員：30名

画用紙1枚をしあげます、そのあと指導者といっしょに散策しながら自然観察をします。

定員間近となりました。参加ご希望の方はお早めにお申し込みください。

英国ナショナル・トラスト誕生までの系譜 その2

英国ナショナル・トラストは、ロバート・ハンター (1844~1913) と前述のオクタヴィア・ヒル、ハードウィック・ローンズリの三人によって創立されました。三人の中でナショナル・トラストによって環境保護をしようと提案したのは、ロバート・ハンターでした。そこまでに至る時代背景があります。

19世紀の英国は、産業革命のため全国で環境が激変していました。その影響からいままで「共用地」(コモン)として市民が自由に使用できていた空間が、大土地所有者に寄って「囲い込み」が行われ排除されるという事態が、農村部そして都市部でも侵襲していきます。この流れがさらに進行するのを防止する目的で1865年に生れたのが共用地保存協会です。この協会で弁護士として活躍したのが、ロバート・ハンターでした。しかし彼は、この運動があくまでも啓蒙的なものであることに限界を感じていきます。そして、1884年に「今や国民の利益のために土地と建物を買い取り所有する組織が必要です。国民の利益のために国土のオープン・スペースを保護する不動産所有団体を設立しましょう。」と提唱するのです。これが、正にナショナル・トラスト構想なのです。

「ナショナル」とは、『国民の』又は『国民の力で』という意味合いを込めたもので、民間が事業主体になることを明確にしています。「トラスト」とは、『信じて託す』ということです。英国では古くから、財産の管理を信頼する第三者に委託するという慣習が社会的法的行為として行われ、その優れた財産管理人たる立場の団体になることを目指しています。ですから、ナショナル・トラストとは、国民によって国民のために貴重な自然及び歴史的財産を保有し、公的財産として管理・運営していく役割を担った非営利目的の団体であることを表現しているのです。

これに賛意をしたのがオクタヴィア・ヒルでした。女史は、ロンドンの下層社会の劣悪な住居群に対して「太陽とその居間にきれいな空気」をもたらす住環境にすることに尽力し、当時社会改善運動に功績を挙げたナイチンゲールと並び称せられるまでになっていました。女史の参画の意志表明は、構想を一気に前進させることとなります。「トラスト」という名称を提案したのは女史でした。さらに、多忙な二人を助ける形で加わったのが、湖水地方で活躍していた牧師のハードウィック・ローンズリでした。彼は、牧師の傍ら1883年の鉄道路線延長問題を取り組むのを取っ掛かりとして数々の環境保護活動のリーダーとして実績を重ねてきていました。彼は、旧知のオクタヴィア・ヒルからロバート・ハンターを紹介され、この構想があることを知り実現に向けての強い意欲を示すのです。そして、三人は鼎となって創立に向けて邁進し、待望の1895年に漕ぎ出したのです。

第1号の資産は、同年に中部ウェールズ地方カーディガン入江にそびえた崖地ディアス・オリイの寄贈をうけます。オクタヴィア・ヒルは手紙で「最初の資産が、最後にならないように・・・」と喜びと不安の入り交る船出を綴っています。

《お薦めの本》

梅棹忠夫 語る 聞き手 小山修三

松岡 要三

「知の巨人」梅棹忠夫さんが亡くなって1年になる。登山家から探検・民族学・知的生産技術・情報産業論など活動領域は広い。梅棹さんは東京オリンピックが開催された1964年に作家・小松左京さんらと「次は大阪で万博やな〜」と「万博を考える会」をつくり、陰で岡本太郎を担ぎ出し、太陽の塔の地下展示のために「世界の民族資料」を集め、万博跡地に世界に誇れる「国立民族学博物館」を作った戦略家でもある。万博の地・吹田市に住んでいる私は、万博記念公園や国立民族学博物館・・・と彼の残した足跡の中で定年後のセカンドライフを随分と愉しませていただいています。

今年3月10日から6月14日まで国立民族学博物館で「ウメサオタダ才展」、3月19日から4月27日まで吹田市立博物館で「千里の道は世界に通ず〜梅棹忠夫写真展」が開催され、梅棹さんを追悼する講演会などのイベントが数多くありました。また、季刊民族学「特集 梅棹忠夫の軌跡」(発行千里文化財団)、季刊誌考える人「特集 梅棹忠夫「文明」を探検したひと」(新潮社)、「梅棹忠夫 知的先覚者の軌跡」(発行 国立民族学博物館)などが発行されています。

私も一市民としてこの一年、梅棹さんを追悼するイベントを追っかけて参加し、著書を読み返しています。『他人のまねをして何が面白い?——未知なるものにあこがれ、自分の頭で考える。オリジナリティを大事にして、堂々と生きようやないか! 閉塞感・不安感に満ちた現代日本人向け、「知の巨人」が最後に語った熱きメッセージ。』——これは

「梅棹忠夫 語る」の裏表紙に書かれた言葉です。文中には『君、それ自分で確かめたか』、『生きることは挫折の連続である。 困難は克服されるためにある』とも。情報が氾濫する今、梅棹先生の残した足跡とメッセージをかみしめ、確かな情報収集と整理、そしてよく考えることが必要かと。(日本経済新聞社 日経プレミアシリーズ)



<次回は久保廣子さんをお願いします>

【コラム】

南部せんべいの話

清水 順子

8月の園遊会に出演して下さる菅原哲夫さんの奥様とフランスシター奏者の飯田むつみさんがヴォーリズ六甲山荘を訪ねてくださった時、南部せんべいの話ができました。菅原哲夫さんは宮沢賢治と同じ岩手県のお生まれで、南部地方については詳しいのです。もともと南部地方の人々の非常食だったこと、お茶漬けにしたり鍋にいれたり、お菓子としてではなく食材として扱われていること、だから何もはっていないのが当たり前。ゴマくらいは許せるが、ピーナッツなどはいったり、生地には卵はいったりするのは「邪道」とのお話をびっくりしながら楽しく伺いました。あとでネットで調べてみると、地元ではせんべい汁は定番料理で、汁もの用のせんべいも売られているとか。保存食としてしっかり根をおろしているのですね。

被災地の復興には長い時間とエネルギーが必要です。地元の人達が自ら立ち上がる力を得るために、私たちはどんな手伝いができるのか。その答えのひとつが「南部せんべいを食べましょう」です。せんべいに限らず、被災地の産物を買って産業を応援しましょう。7月23日のコンサートでは用意した東北の物産はあっという間に売り切れました。皆さん考えることは同じです。スーパーにも東北物産コーナーがあったりします。

寄付をする、支援活動に参加する、物産を買う・・・いろいろな形の支援があります。何よりも、決して忘れない。ささやかでもひとりひとり、できることを続けていきましょう。

六甲山荘だより

下界では盛のすぎたアジサイも山上ではまだまだ色鮮やかです。鳥の音が降るようにひびき、同じ夏でも山の夏はさわやかです。グループのお客さま、子ども連れなどが来られ、皆さん涼しさを満喫しておられるようです。甲南女子大学の美術部の学生は庭で写生をしていかれました。これからは宿泊の方も増えてきます。皆さん、山荘の魅力を十分ご堪能ください。



山荘の庭で写生をする人→

私たちの手でヴォーリズ六甲山荘を育てましょう！

ヴォーリズ六甲山荘募金報告（目標金額 2000万円）

6月の募金状況 35,000円<累計9,181,248円(642名から1,620口)>
会員 20,000円(4名から4口)<累計4,915,970円(459名から973口)>
一般 15,000円(2名から3口)<累計3,348,745円(201名から666口)>
一般団体 0円<累計81,000円(5団体から16口)>
その他 0円<累計832,883円>

振込口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ2000協会

予告の予告

町並み研究会～天神崎、和歌山

3月に予定していながら、東日本大震災のために延期となっていた町並み研究会を、仕切りなおして次のように開催します。

月日 2011年12月11日(日)～12日(月)

訪問先 天神崎ナショナル・トラスト、南方熊楠顕彰館、湯浅の町並み
黒江の町並み等

宿泊 白浜・梅樽のホテルシーモア

参加費 会員27,000円 一般32,000円

詳細は後日ご案内いたしますが、参加ご希望の方はスケジュール表にチェックをお忘れなく！

手作りマーマレード

春に会員で手作りしたマーマレードはいかがですか。
材料は有機農家会員の越智さんのハッサクと中嶋さんの甘夏です。保存料、添加物を一切つかわない安全でおいしいマーマレードです。六甲山荘での喫茶でアイスクリームやババロワに添えてお出しすると大変好評です。冷凍保存しておりますのでご希望の方にお届けできます。

1パック（140グラム入り）400円
ご希望の方はご連絡ください。

7月23日東日本大震災被災者支援コンサート
打ち上げの記念撮影

